hatao の夢、
ケルトの笛屋さんの夢

みなさんは新年をいつもどのように迎えていますか？
僕は年末ぎりぎりまでコンサートをし、元日から獅子舞の笛の演奏をするのが恒例です。それが終わると暖かい東南アジアに行ってのんびりすごすことにしています。休暇中は自分のことを振り返り、未来を想像し、１年の英気を養います。
こういう時期ですから、僕の夢、笛屋さんの夢を皆さんにお話しさせてください。

僕が目指していることはとてもシンプルです。それは「音楽の喜びをより多くの人と分かち合いたい」ということです。
何の取り柄もなく孤独だった 18 歳の僕がケルト音楽に出会い、音楽を通じてたくさんの人生のプレゼントを頂きました。
その恩返しを音楽でしたいのです。

僕の活動の３つの柱はコンサート、教育、普及です。
そのどれをとっても、人に喜ばれ、役に立ち、学びや成長があり、ポジティブなメッセージを受け取って頂けるようにと考えて仕事をしています。

東日本大震災があった 2011 年の翌年、東北を訪れてボランティア活動をしたことがあります。自分ができる作業に対して、被害の範囲が広大すぎて、一人で貢献できることの小ささに失望しました。
だから自分にしかできないことで世の中を元気にしたいと思い、10,000 冊のティン・ホイッスル教本を出版し、無料で配布し始めました。

最初は部屋を占領する段ボール箱に圧倒されましたが、それから３年半が経ち、もうその在庫も底をつきようとしています。
伝統音楽によって多くの人の暮らしがより充実し、伝統音楽を愛する人どうしがつながり、喜びや楽しみの輪を広げていくお手伝いをすることが自分の使命です。

2017 年は活動の拠点として、日本で初めてのヨーロッパ伝統音楽ショップを京都に開店させる予定です。みなさんとともに、楽しい音楽のある未来を歩むことができれば幸せです。

“ 年末年始のケルトの小ネタ集 ”

ケルトな国々の、日本とは少し違った（もしくは意外と似てる？）年末年始の伝統・風習を大紹介！

大きなキャンドル

クリスマスイブの夜になると、大きなキャンドルを窓の側に置いて火を灯し、聖母マリアとヨセフのための道しるべ（降誕祭の前日なので）にするんだそうです。

クリスマスだ、海に飛び込めいっ！

南ダブリンのあるサンディコーブという町では、クリスマスの翌朝、勇敢な町民が、凍えるアイリッシュ海に飛び込んでその心意気を示す、というはっちゃけた伝統が長い間受け継がれているんだそう。

ミンスパイ

アイルランドのクリスマスにはミンスパイが欠かせません。英国生まれのドライフルーツやナッツなんかをお酒に漬けて煮込んだ「ミンスミート」をパイ生地で包んだもの。ミンスミートさえ手に入ればカンタンに作れるんですが、日本ではちょっとレア素材？

新年のキス、そして蛍の光

英語圏の国では大晦日にパーティーを開き、いざ新年を迎えるとパートナーと、もしくはお近くの空いている人とキスをします。これは『新年のキスをしそびれると、その年が孤独になる』という迷信があるからなんだそうです。で、そのキスが終わったら「蛍の光」をみんなで合唱して新年を祝うんだそうな。

リトルクリスマスは、女性のためのクリスマス

アイルランド人たちは、１月６日の公現祭（東方の三賢者が幼子イエスを見つけた記念日）を「リトルクリスマス」「女性のためのクリスマス」と呼んでいます。というのも、その日は女性が休息を取るため、家族の男たちが台所に立ち公現祭のディナーを準備するという習わしがあるんだそうです。現在は、外食で済ませることも多くなっているようですが、日本の「おせち料理」と発想が少し似ていますよね。

パンで壁ドン

新しい一年を良い年にするための「お祓い」の意味を込めて、アイルランドには新年に家中の壁を、固くなったパンで叩きまくって悪運を追い出す、という不思議な風習があるそうです。なぜそんなに散らかる方法を？と思わなくもないですが、どことなく楽しそうです。

ケルトの笛屋さん

ケルマガ

年末年始
特別号
2016-2017

celtnofue.com

2016 年 10 月、北京の西湖にて

hatao

hataoよりごあいさつ

こんにちは！ hatao です。
年末年始をいかがおすごしでしょうか。
僕は 12 月 26 日から 1 月 2 日まで台北に行き、台湾で新年を迎えます。
12 月 30 日に台湾人の方と一緒にアイリッシュの練習会とライブを開催して 2016 年の仕事納めとなります。台湾の方たちと音楽の楽しみを分かち合えることを今からとても楽しみにしています。

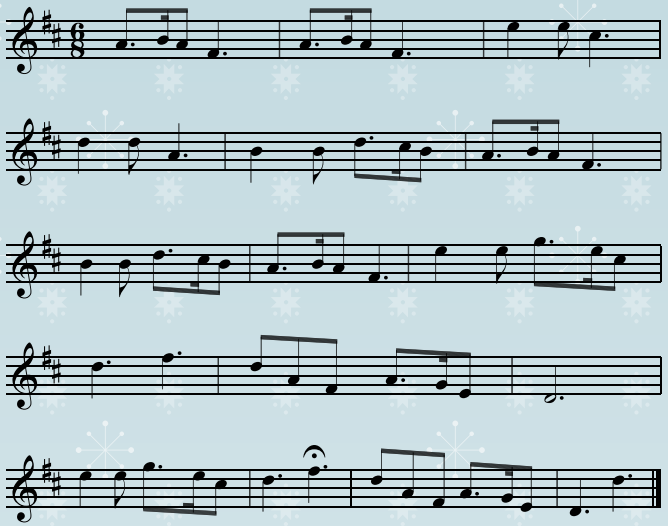
2016 年はケルトの笛屋さんにとっても、充実の 1 年でした。
笛と太鼓の一人楽師パイプ＆テイバーの教本を出版し、オリジナル設計バグパイプ「どこでもパイプ」によって、始めてバグパイプの取り扱いを開始しました。
またケルトの笛フォーラムや Facebook 上のグループ「ケルトの笛交流広場」を開設、5 年間停止されていたメルマガ「クラン・コラ」を復刊し、情報発信や交流の場を広げることができました。

2017 年は京都に国内初となるヨーロッパ伝統楽器の専門店を開店させる計画があり、それに向けて準備をする 1 年になりそうです。

伝統音楽を愛する人が増え、活動にご協力できるように 2017 年も励んでまいりますので、ご協力いただけましたら嬉しいです。それでは、風邪にお気をつけて、充実した年末年始をおすごしください。

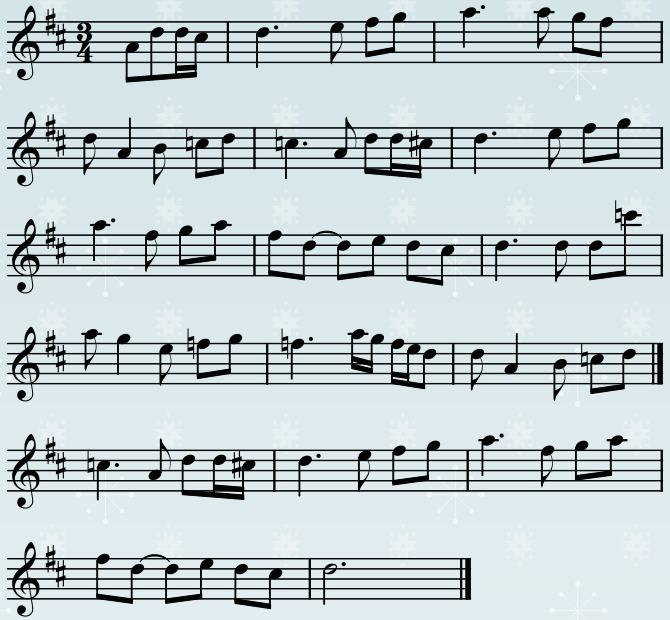
クリスマスの定番曲

“きよしこのよる”



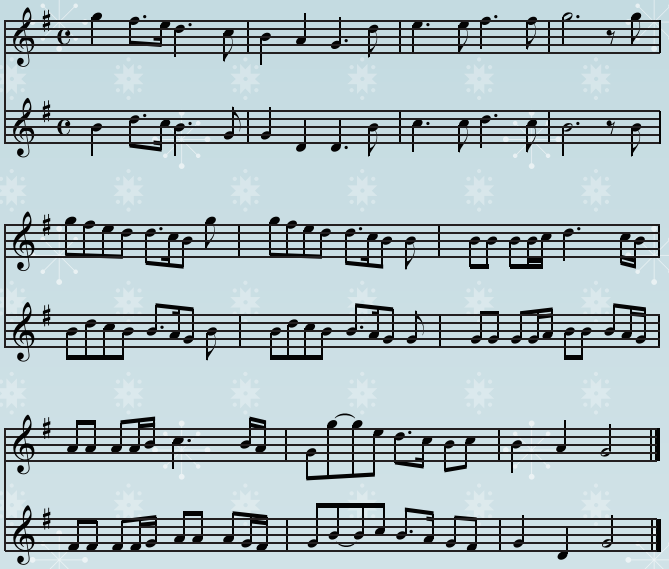
アイルランドのクリスマス曲

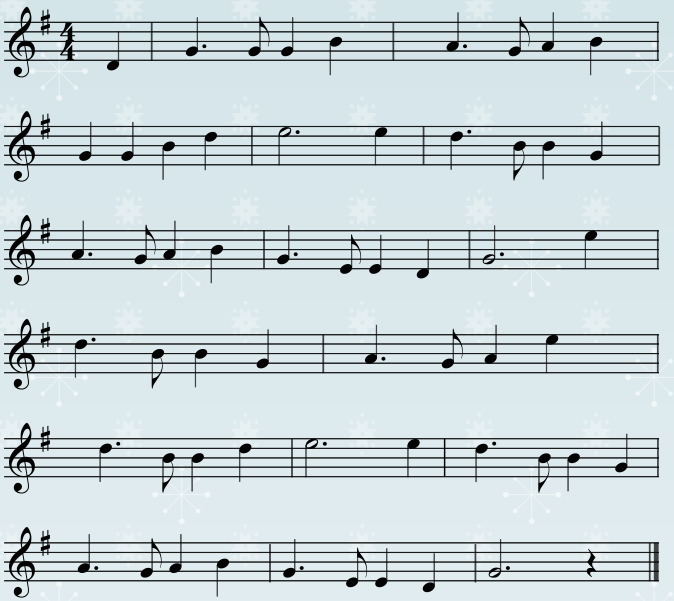
“ウェックスフォード キャロル”



みんなで吹こう

“もろびとこぞりて”



大晦日に吹きたい

“蛍の光”